

土佐の文化人揃い踏み

土佐の文人が描いたこの絵巻は、右に高知城下の人々を、左に土佐の文人の集いを表します。画面の上の方には「高知のにぎわい」と文化の豊かさをうたい、この意味の漢文。

登場する文人はなんと88名。絵を描いたり、詩を書いたり。煎茶を飲んだり、印を彫ったり。ものすごく楽しそうです。

資料クローズアップ

こんなものがあります

【第3話】

土佐発、未来ゆき。

壬生水石
「雅俗太平楽」
天保1年（1840）

土佐の文人が描いたこの絵巻は、右に高知城下の人々を、左に土佐の文人の集いを表します。画面の上の方には「高知のにぎわい」と文化の豊かさをうたい、この意味の漢文。

登場する文人はなんと88名。絵を描いたり、詩を書いたり。煎茶を飲んだり、印を彫ったり。ものすごく楽しそうです。

当館のコレクションの中から、土佐人による
パシチ力あふれる意欲作をご紹介します。

大島眺望図

知的で優雅な
200年前の文化財ガイド

古屋竹原
「高幡奇覧より
「大島眺望図」
弘化2年（1845）

文人絵巻から「私を捜して来て下さい」

現宿毛市街から大島越しに、真西から南西にかけてを一望した図。左上の文人絵巻のすみっこにも登場する古屋竹原が、土佐西部の史跡名勝と文化財を究明に描き、解説した名物。観察力とエングラントさの融合した、すてきな文化財内書です。

桃香合
高知市を流れる鏡川周辺で採れる石「横柳石（びんろういし）」製。お茶席のお国自慢アイテムだったのでしょうか。

河田小龍「西王母」
ちよつびりアンニュイに見えるのは桃を盗む輩がいるから？小龍は漂流者ジョン万次郎の聞きとまりを行い、西洋事情通として坂本龍馬などにも影響を与えた絵師。

山本昇雲「桃太郎」
やわらかそうなほっぺ、カールした前髪がかわいい桃太郎。第二次大戦中に皇紀2600年を記念してかかれまし。昇雲は、女性や子供の絵を得意とし最後の浮世絵師とも呼ばれる画家。

土佐産 桃づくし

なかやまてうよう／とうほうさく
1 中山高陽「東方朔」
西王母から不老長寿の桃をまんまと盗み出し、にんまりする仙人。高陽は、土佐の富裕な町人の生まれで、京、江戸に出て、文人画の先駆者として活躍した江戸時代中頃の人物です。

事業クローズアップ

城博を舞台に、はじまる。

【第3回】
展開事業編

地域とつながる

博物館と地域の関係、
その基本には
いつも資料と人があります。

地域を舞台に色んなことに挑戦してみたい…。
私たちが地域とかかわる時、もとも基本になるのは、やはり「資料」です。
地域に伝った資料、あるいは地域のことを教えてくれる資料など、博物館の活動は資料との会話からはじまります。この会話を通して、地域を見つめ直し、新たな視点を地域に提供する。そして地域の魅力と可能性を再発見していく、そんな地道な活動が私たちの基本姿勢となります。

それともう一つ、博物館と地域の間には、いつもかならず「人」がいます。地域に暮らす人々、地域のことを考える人々、遠く離れた場所から故郷のことを想う人々々々。私たちの活動はいつもこれらの人々との会話からはじまります。

資料との会話、地域の人との会話。この二つの会話が、博物館と地域の関係を作り出し、展開させていく原動力です。

つながる

人と社会をむすぶ
歴史文化情報の
発信拠点・連携拠点として

博物館では、自分たちの活動はもちろんですが、より広く地域で行われている様々な歴史や文化に関する活動についても情報を発信していきます。現在、県内の様々な地域で、歴史や文化を活かした活動が行われています。時に、地域づくりや地域振興などと表現されることもあるこれらの活動に、博物館としても直接的、または間接的に協力していきたいと思っています。いわば、歴史や文化の活動を通して、人と人、人と社会、あるいは、地域と地域など、人々の交流が促されるような社会における歴史文化情報の発信拠点になりたいと考えています。

また、県内には様々な博物館等の文化施設があります。これらの施設を取り結び、文化施設の役割や機能、その可能性を社会に発信していくような連携の拠点としても活動したいと思っています。

あつまる

地域の風土と奥深さを体感できる
様々なメニューを用意

博物館では、県内各地で様々な歴史文化の催しを企画しています。博物館で開催するのはもちろん、博物館や高知城の周辺、または県内の各地で、博物館的な趣向をこらした歴史文化の催しを開催します。

地域の歴史や文化をテーマに、地域に伝わってきた伝統芸能や民俗行事、今は失われた地域の歴史的景観、あるいは地域の食材や産物などを取り上げて、地域という文化風土の中に参加者を誘い込むような、地域の個性と奥深さを体感できるような、そんな催しを企画しています。

博物館が開催する地域をテーマにした催しに、ご参加いただき、県内各地の魅力を再発見してみてください。地域に蓄積された歴史の重みを実感してください。そこには、今を生きているヒントがたくさん詰まっています。

博物館の1階には、高知県全域の情報と高知城周辺の城下町の情報を紹介するコーナーを設けて、歴史文化情報を発信します。

高知城周辺の8つの文化施設が連携して、「高知お城下文化施設の会」を作っています。高知城歴史博物館も積極的に参加しています。

各地で地域散策会を催します。実際に現地を歩いてみると、新たな気づきや発見が多くあります。

普段見慣れている風景も、「歴史の眼鏡」を掛けると違って見えてきます。色々な視点から地域を捉え直します。

県内各地の民俗行事や伝統芸能を、高知城周辺で紹介し、地域文化の発信と継承につとめます。

県内には、整理されずに保管されている資料が多くあります。この中には、地域の歴史が詰まっています。

県内中山間地域のある神社の所蔵品です。神社や寺院には地域の歴史を知る豊かな資料があります。

地域住民との何気ない会話からは、思いもかけない地域の歴史話が飛び出していきます。

今回の特集ページは
地域に“とびだす”お話です。

やまひん
高知城歴史博物館

2017(平成29)年3月4日、
一般公開開始。

城博ニュース

JO-HAKU NEWS

開館プレ企画開催中！
開館に先駆けて、プレ企画を開催しています。

「地域講座」博物館や歴史文化の可能性について考える地域講座を開催中。各地域会場のテーマは、高知市・高知城下町の再発見「西部」地域の博物館・資料館・中部学校教育と博物館「東部」地域社会と歴史資料。当館館長・学芸員・企画員が報告を行います。

「シンポジウム」学校と地域文化・休廃校を考える」平成28年12月3日（土）、高知市立自由民権記念館にて、シンポジウム「学校と地域文化・休廃校を考える」を開催。小林真理氏（東京大学教授・文化資源学）による講演会のほか、当館館長と企画員による休廃校の利用に関する報告、フレ企画の開催は、当館ホームページをご覧ください。

お城下ネットが発足しました！
高知城を中心とした旧お城下エリアにある8つの文化施設が連携し、エリアの活性化に文化の面から協力するため、高知お城下文化施設の会（通称お城下ネット）が発足。平成28年11月20日（日）、高知城周辺にて各施設の体験イベントや川本真浩氏（高知大学人文社会科学部准教授）による日英の文化イベントとまちづくりに関する講演会が開催されました。

参加施設：高知県立高知城歴史博物館、高知県立文学館、高知城管理事務所、高知市立市民図書館、高知市立龍馬の生誕地、高知市立科学館、横山記念まんが館

高知県立高知城歴史博物館 プレ広報誌 第3号（全4号発行）

発行日：平成28年12月2日
発行元：公益財団法人 土佐山内記念財団
〒780-0842 高知県高知市追手筋2-7-5
TEL 088-871-1600
FAX 088-871-1619
<http://kochi-johaku.jp/>

高知城博 検索

（本誌はホームページからダウンロードできます）
●本誌掲載の記事、写真の無断複写・複製を禁じます。

高知県立高知城歴史博物館 2017年(平成29)3月4日 一般公開

高知県立高知城歴史博物館 プレ広報誌

第3号
【無料】

とびだす！

ジョーハク
城博の
ひろがり

2017(平成29)年3月4日、
一般公開開始。

高知県立
高知城歴史博物館
Kochi Castle Museum of History

土佐と日本の歴史と文化を未来につなぐ
土佐藩主山内家伝来の貴重な資料を守り伝えながら、日本文化の魅力を発信します。

本物に出会う感動、知る喜び
子どもも大人も、みんなが楽しめる歴史と文化との出合いの場をつくります。

地域とともに…
地域の博物館として、歴史と文化を活かした地域づくりに参加します。

高知城歴史博物館は、
新しい博物館活動を展開します。

博物館の事業

保存	教育普及
山内家資料や地域の歴史資料の保存・継承	生涯学習や学校教育の活性化
調査研究	地域連携・観光振興
近世・近代史研究の拠点として学術研究を推進	歴史や文化を活用した地域振興・観光振興への寄与
展示公開	
展示公開などによる全国発信	

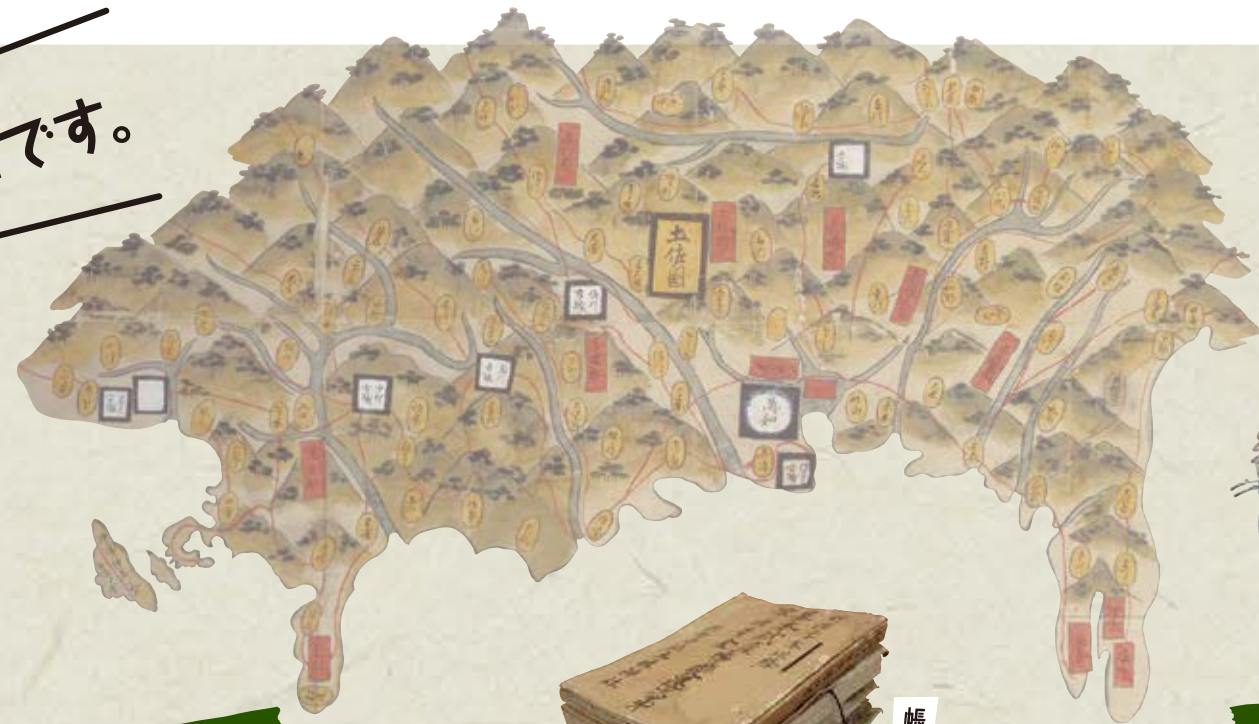
※高知県新資料館基本構想をもとに作成

出発

Kochi Castle Museum of History 2017 March OPEN.

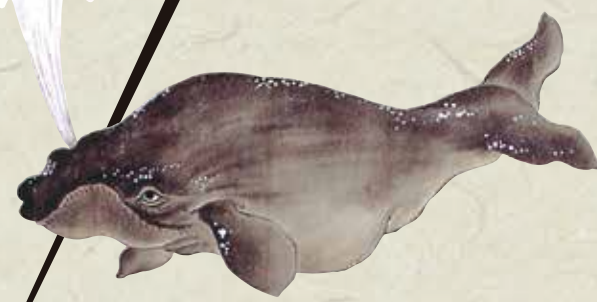
高知県 在々所々

地域の歴史は土佐の宝です。



地域にとびだす！

とさのくに
フィールドは土佐国。
博物館の活動は建物の中だけにはとどまりません。
城博では、土佐の歴史や文化を守り伝えるため、
高知県内各地で地域の皆さんと一緒に
取り組んでいきたいと考えています。



地域資料の調査と保存

皆さんがお住まいの地域に歴史資料が眠っていませんか？
地域の歴史や文化を守り伝えることは、
資料を調べて証拠となるものを残す作業からはじまります。

資料調査

資料から読み取れる情報を調査
カードに記載したり、カメラで撮影
したりします。資料は適切な道具
を用いて大切に保存します。

講習会

資料の調査や保存の方法を地域
の皆さんにお伝えします。

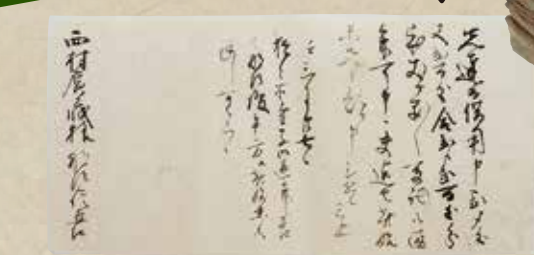


例えばこんなモノ

手紙

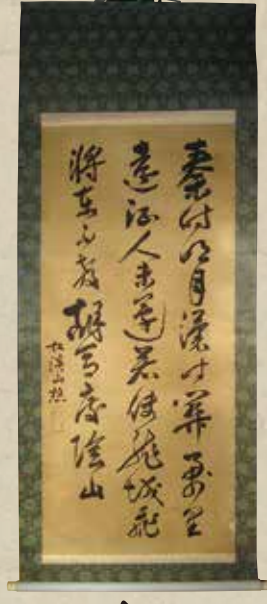
帳簿

ふすま



権札

写真



掛軸

こんなモノまで！



調査をしたあとは…

歴史文化の紹介

資料を調べた成果は、
地域の皆さんはもとより、
広く県内外に紹介します。

「地域記録集」の作成
江戸時代の村の単位で、地域の歴史
文化を1冊にまとめます。

地域の歴史文化展
地域に伝わる歴史資料を展示し、県内
各地域の歴史や文化を紹介します。



江戸時代の
村の数は
1000以上！



「地域おこし」、その前に…

歴史文化活動への協力

地域の歴史を再確認してみませんか？
「地域おこし」や「観光地域づくり」などの活動は、
地域の特色を把握することが大切であり、
それはまさに地域の歴史を知ることからはじまります。

勉強会への講師派遣
地域で行う歴史の勉強会などに講師を
派遣します。

地域活動への協力
地域の歴史散策会や集会所で行う写真
展など、歴史や文化に関する活動につ
いてご相談に応じます。



まずは
お声がけください。



高知市 中心部

城博は「お城下」の一員です。

歴史文化行事の開催

県内外の多くの人たちが集まる「お城下」で、
高知県の歴史や文化を紹介する
様々な行事を行います。

伝統行事の実演
県内各地に伝わる伝統
行事を実演で紹介します。



日曜市料理体験
日曜市の食材を使った郷土
料理の体験教室を行います。



城下町のまちあるき
中心市街地を歩きなが
ら秘められた城下町の
歴史を紹介します。

街との連携・協力

高知市中心部で行われる様々な活動に、
歴史博物館の立場から協力します。

歴史文化の
情報提供
街の活性化の取り組
みに、歴史や文化の
情報を提供します。



↑ 浦戸湾の歴史を楽しむ遊覧船ガイド



催し物への参加
歴史体験コーナーを設
けて、土曜夜市などの催
し物に参加しています。

← 江戸時代の城下名物
「花台」の復活



横造刀や兜の
レプリカに
さわってみよう。

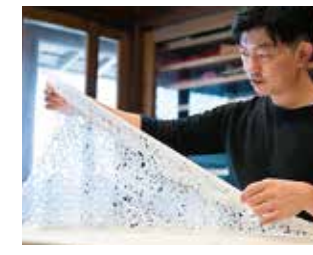
城博を飾る、 土佐伝統の技。



村山瓦は「新時代の屋根を創る」をコンセプトとしています。気候や建物の
表情を考え、瓦はどうあるべきかを考えています。博物館の大屋根の棟に
使用している瓦は日本一大きいし瓦と素丸瓦です。
和室の土間にある淡路の土窯で焼成した色むらのあるタイルや同じく
和室の庭にある日干レンガのように太陽で乾燥させ土窯で焼成した
タイルに注目したいですね。



土佐漆喰の特徴は石灰の中に稲藁の繊維が混ざっていることです。独特な
うす黄色は藁のアクの色なんです。100年200年という耐久性もこの漆喰
ならではの、厚さ3cm程の壁には、8つもの工程で作業をします。
藁にはいたるところで漆喰を使っています。ひとつひとつに土佐漆喰の歴史
と技術、左官職人の想いが込められています。是非じっくりとご覧下さい。



土佐和紙は恵まれた自然のもとに栄え、江戸時代には土佐七色紙が徳川
幕府へ献上されています。明治時代には全国一の生産規模となり全国の
なかでも優れた品質と伝統が守り継がれています。土佐和紙は繊維質が
長く、薄く丈夫で幅広い用途があります。
博物館には「落水紙」を使用しており、光が入ること立体感があり繊維の
流れが複雑に絡み合った美しい姿が分かります。



良木に恵まれ林業が栄えていた高知県では古くから打刃物が活躍して
いました。江戸時代には土佐藩による森林・新田開発政策が遂行され土佐
打刃物はその生産量と品質が向上し、日本の三大刃物産地となりました。
土佐打刃物は独特の割込鍛造で高い技術を持っています。
鍛造黒打の装飾が博物館ではご覧になれると思います。錆を活かした
装飾は博物館にいいアクセントになっているはずです。そこからは、土佐
打刃物の歴史を感じて下さい。